

社会資本総合整備計画 事後評価書														令和08年03月16日		
計画の名称	快適な生活環境と安全・安心な水環境を守る公共下水道の整備															
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度 (5年間)													重点配分対象の該当		
交付対象	藤枝市															
計画の目標	公共下水道の整備を推進し、居住環境や生活環境の向上及び公共用水域の保全を図るとともに、水害に強い都市を作ることにより、安全安心な市民生活の確保を図る。 下水資源等のエネルギー利用を促進し、市内における循環型社会の構築に貢献する。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		673	A	673	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率を43.5%から44.6%に増加させる。			
	行政区域内人口に対する下水処理区域内人口（下水道による污水处理が可能になった区域内の人口）の割合・・・普及率	43%	44%	45%
	下水道処理人口普及率（%）＝下水道処理区域内人口（人）／行政区域内人口（人）			
2	家庭系生ごみ資源化に向けて、調査及び全体計画と事業計画の変更を100%完了する。			
	家庭系生ごみ資源化事業に係る計画変更が完了した割合	0%	100%	100%
	家庭系生ごみ資源化事業に係る計画変更の完了率（%）＝計画変更1式（完了）／計画変更1式（計画）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	管渠（ 污水）	新設	藤枝処理区管渠整備（未 普及整備）	汚水管渠Φ200 L=3,500m	藤枝市	■	■	■	■	■	550		－	
	A07-002	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	管渠（ 污水）	新設	藤枝処理区管渠整備（実 施設計）	実施設計業務 L=1.5km	藤枝市		■					20		－
	A07-003	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	管渠（ 污水）	新設	公共下水道事業計画の変 更	計画策定	藤枝市	■						23		－
	A07-004	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	終末処 理場	新設	家庭系生ごみ資源化事業 実施のための計画見直し	汚泥処理構想策定、全体計画 及び事業計画変更、導入可能 性調査（FS）	藤枝市	■	■	■				80		－
											小計							673		
											合計						673			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画評価委員会にて評価を実施	令和7年度
	公表の方法
	藤枝市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道管を布設したことにより、生活排水の適正処理が可能となり、居住環境や生活環境の向上及び公共用水域の保全を図られた。 ・家庭系生ごみ資源化事業に係る計画変更を実施し、所定の手続を完了した。これにより、事業の実施条件を整理・明確化し、以後の事業を進めていくための基盤が整った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・下水道整備により、未普及区域における生活排水処理の安定性が向上し、衛生面・環境面の改善に加え、災害時における生活環境悪化リスクの低減等に寄与した。 ・バイオマス利活用に関して、関係部局間で役割分担や条件整理を進めたことで、関係者間の調整土台ができた。

○特記事項（今後の方針等）

・引き続き管渠整備を行い、居住環境や生活環境の向上及び公共用水域の保全を図る。 ・今後もバイオマス利活用の取り組みを進め、持続可能な循環型社会の構築を目指す。
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	45%	未普及区域への下水道布設を進めたものの、行政人口の減少が想定以上に進行したことにより、処理区域内人口が相対的に伸び悩み、普及率が目標値に到達しなかった。
	最 終 実績値	44%	
2	計画変更の完了率		
	最 終 目標値	100%	当初の計画のとおり、家庭系生ごみの受け入れに係る下水道全体計画・事業計画の変更を完了した。
	最 終 実績値	100%	

社会資本整備総合交付金

